

THE FRONTIER TIMES  
**Report**

**1** 第10回全日本高校模擬国連大会  
4年連続出場!

**近** 藤穂佳さんと佐治澤花さんが名古屋国際高等学校Bチームとして予選(エントリー135校202チームから86チームが通過)を見事に通過し、2016年11月12日~13日に国際連合大学(東京都渋谷区)における第10回全日本高校模擬国連大会へ出場しました(愛知県内の出場校は名古屋国際、旭丘、海陽の3校)。名古屋国際の全国大会出場は今年で4年連続となります。

今年のテーマは「国際安全保障の文脈における情報及び電気通信分野の進歩」についてであり、「サイバー空間」における国際的なルール作りを各国の大使となって話し合いました。本

校の生徒はエルサルバドルの大使となって、自国の国益と国際的な調和をどのように取るかを考えながら会議に参加しました。

模擬国連とは、全国各地より選ばれた高校生たちが、世界各国の大使として模擬国連会議に参加し、実際の国連で扱われる議題について議論・交渉・決議案を出すというプロセスを通じて、地球規模の国際問題について理解・解決策を模索する活動です。英語力だけでなく、論理力・交渉力・問題解決能力などが求められ、豊かな国際感覚と社会性を有し、未来の国際社会に貢献できる人材を育成し輩出することを目的としています。



**2** 研究授業報告  
数学科におけるアクティブ・ラーニング型  
授業を実践して

**12** 月1日5限、1年D組の数学Aで、アクティブ・ラーニング型授業として、場合の数・確率をテーマに、解法としての計算式から逆算して元の問題を創らせるという手法で実践しました。4~5人ずつの班に分け、各班に解法式を1種ずつ与え、前半は各班でディスカッションにより解法式に適合するように逆算して元の問題を考えさせ、後半は創った問題の発表をさせた後に、その講評を行うという授業展開です。例えば、

6C<sub>3</sub>-3C<sub>3</sub>(答え 19通り)という解法式から元の問題はどのようにイメージされるでしょうか。「1,2,3,4,5,6の6個の数字から異なる3個を選ぶとき、積が偶数になる選び方は何通りか」など、元の問題の発想の可能性は実に様々であり楽しいものです。問題を創るという能力は、平素の問題を解く能力とは異なり、生徒の思考力や表現力などの潜在能力を引き出す効果があるように感じられます。(数学科 伊藤亘央) **■**



**Hot!** Information  
国際教育プロジェクト  
合同報告会開催のお知らせ

**こ** のたび、名古屋国際中学校・高等学校が推進してきました国際教育の実践報告会を、下記の通り開催いたしますのでお知らせいたします。中学校および高等学校におけるグローバル人材育成に興味や関心のある方(教育関係者限定)は、本校ホームページからお申込みください。



**【日 時】2017年3月15日(水) 13時00分~16時00分 (12:30開場)** ▶▶▶本校HPから要予約

**【場 所】名古屋国際中学校・高等学校**

**【対 象】** 国際教育に関心のある教育関係者

**【活動報告対象3グローバルアクション】**

- 国際バカロレア・ディプロマプログラム(IBDP)
- 文部科学省・スーパーグローバルハイスクール(SGH)アソシエイト
- ESD重点校形成事業・サステナブルスクール

**【基調講演】**  
テーマ:「教育が導く社会の担い手~2030年を指標して~」  
文部科学省 国際統括官付(日本ユネスコ国内委員会事務局) ユネスコ振興推進係長 岡本 彩 氏

**【タイムテーブル】**

12:30~ 開場	【分科会】(13:50~15:20)入室自由 2つの会場にてIBDP認定校、SGHアソシエイト、サステナブルスクールとしての活動報告および公開授業を実施します。
13:00~ 開会	
13:10~ 基調講演	
13:50~ 分科会	【第1会場】IBDP(担当教員による公開授業)
15:30~ 情報交換会	【第2会場】第1部:サステナブルスクール(気候変動に関する教育事例紹介)
15:50~ 講評	第2部:SGH(新設科目SIA特論公開授業)
16:00~ 閉会	

**HOT! NEWS**

**1** 寄付金により時計2台設置

**皆** 様からの温かいご支援により、このたび2016年10月31日、体育館前と東グラウンドにそれぞれ新しい時計が設置されました。この時計台の設置費用の一部には、下記の卒業生および組織からいただいた寄付金が充てられています。

- 名古屋国際中学校・高等学校 3期生一同
- 名古屋国際中学校・高等学校 4期生一同
- 名古屋国際中学校・高等学校 保護者会SHIP

本校教育環境の充実へ深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



◀東グラウンド北西に位置する時計



◀体育館北に位置する時計台

<前号VOL.31 August 2016 訂正のお知らせ>  
第13回「国際理解講演会」講師 和久浩行様に関する表記に誤りがありましたので、下記の通り訂正し、お詫言申し上げます。  
正 Boing 787の開発を担当(三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所在勤当時)  
誤 MRJの開発を担当

発行 **名古屋国際** 中学校 高等学校  
NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

制作 学校法人栗本学園  
名古屋国際中学校・高等学校  
学内広報チーム

所在地 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町1-16

発行年 年間4回

デザイン cluch on cluch Co., Ltd.  
企画協力 株式会社 イーブレイン

TIMES 設置配布協力先  
名古屋国際中学校・高等学校事務局前/名古屋国際大学 地域活性化研究センター/名古屋国際大学 中央情報センター/独立行政法人国際協力機構中部国際センター/認定NPO法人ICAN

広報紙「THE FRONTIER TIMES」に関するご意見・ご感想は ft@nihs.ed.jp までお送りください。本紙に掲載されている記事、画像など全てのコンテンツの著作権は名古屋国際中学校・高等学校に帰属します。私的利用以外の目的で複製・転載することはできません。  
201701138000

**THE FRONTIER TIMES**  
【フロンティア・タイムズ】



▲留学経験者、海外勤務経験者、国際機関等の勤務経験者、国際的に活躍している研究者等を学校に派遣し、講演会や授業を実施することで、子供たちの国際的視野を涵養することを目的とした愛知県の「グローバル人材育成の基盤形成事業(グローバル語学部派遣)」を2016年12月22日に実施しました。東京大学サステナビリティー学連携研究機構の北村友人准教授をお招きし、「持続可能な開発目標(SDGs)とは何か」をテーマに講演およびグループディスカッションを行いました。

**[ Welcome École POLYTECHNIQUE ! ]**



**T** he École POLYTECHNIQUE is one of the most prestigious schools in France. Founded in 1794 by the mathematician Gaspard Monge, it became a military school under Napoleon Bonaparte. Today, the POLYTECHNIQUE remains the most outstanding science and engineering school in France, and it is the place where the country's brightest scientific minds are gathered and nurtured. Similar to Caltech in the USA, the POLYTECHNIQUE is a small and elitist university, often being one of

the most important labor pools for key government jobs and executive positions in top public and private French companies.

The university has also one of the lowest student-to-faculty ratios in the world, about 1 member of faculty to every 5 students. Despite being small, the POLYTECHNIQUE offers a huge range of extracurricular activities and sports. One of these athletic activities is their Judo Team, that travels to Japan every two years or so.

This year, after visiting their partner universities, Tokyo University and Keio, they decided to return to Nagoya a second time (last time they were here was in 2014) and visit NIHS, interact with the students and practice a couple of matches of Judo with students from a couple of universities in Nagoya. The Head of the Administration Office at NIHS, and a long-time practitioner of Judo, led the students in a friendly

"sparring" against the École POLYTECHNIQUE Judo Team. There were also other masters of Judo present, and they took the opportunity to share some of their secret Judo techniques with the students as well. All these events took place in the NIHS Judo center, located in the basement of the school's gymnasium.

According to the POLYTECHNIQUE students, they enjoyed many things about Japan, but one of the most significant interactions that they had was to visit the high school classes at NIHS, and to talk to high school students (since they only interacted with university students before). That brief exchanged shed some light on their views about the Japanese education system, and the "normal" high school life in Japan.

We are looking forward to their next visit in 2018.

À la prochaine! **■**